

北九州エアターミナル株式会社

I 法人の概要（令和5年4月1日現在）

1 所在地

北九州市小倉南区空港北町6番

2 設立年月日

平成元年5月1日

3 代表者

代表取締役社長 鮎川 典明

4 資本金

3,965,884千円

5 北九州市の出資金

1,215,992千円（出資の割合30.66%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	13人	0人	1人	12人
常 勤	4人	0人	1人	3人
非常勤	9人	0人	0人	9人
社 員	20人	1人	3人	16人

7 市からのミッション

市等との連携による路線誘致等、利用者数の増加に向けた取組を進め、安定的な財務状況を維持し、公共性の高い空港ターミナルビルを安全かつ快適な空間として、航空会社や航空旅客に提供する。

旅客については、路線の拡大等、航空会社の動向に合わせ、的確な施設の増強や改造を行い、市等との連携による路線誘致に繋げる。

また、増加する貨物需要に対応した貨物関連施設の整備、機能的な施設運営など物流拠点空港を目指した機能強化に取り組む。

さらには、空港ターミナルビル内を活用し、イベントや展示を行い、地域のにぎわいの場としての役割も果たしていく。

II 令和4年度事業実績

1 航空旅客

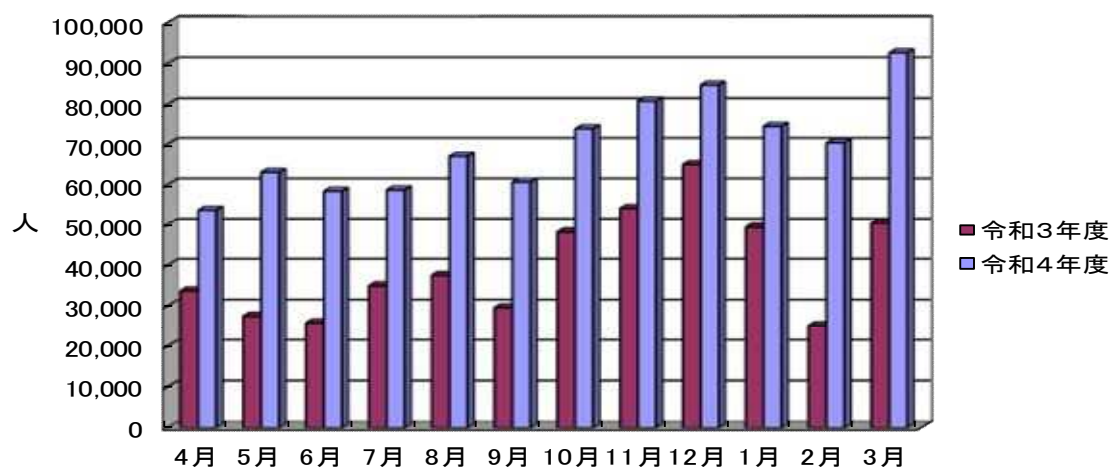
当期の日本経済は、エネルギー・原材料価格の高騰、円安が進む一方で、コロナ禍からの回復傾向に伴い、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移した。

航空業界においては、政府による「全国旅行支援」や、入国規制緩和等により着実に回復している。

このような状況のもと、北九州空港においては、国内線では、東京（羽田）線の年間旅客数は約834千人（前期比175.2%）となった。沖縄（那覇）線は4月のみの運航で、年間旅客数は約6百人（前期比11.7%）となった。定期路線にチャーター便を加えた年間国内線旅客数は約837千人（前期比173.8%）で、前期旅客数約482千人から355千人の増となった。コロナ禍前の平成30年度に比べると58.3%の水準であった。

国際線は、定期便は前期に続き年間を通じて運休となったが、令和5年1月から2月に、インバウンド向けの台湾（台北）チャーターと韓国（仁川）チャーターが実施され、約2年10か月ぶりに国際線が運航した。この結果、年間国際線旅客数は約2千人となった。

【国内・国際線旅客数（合計）の推移】

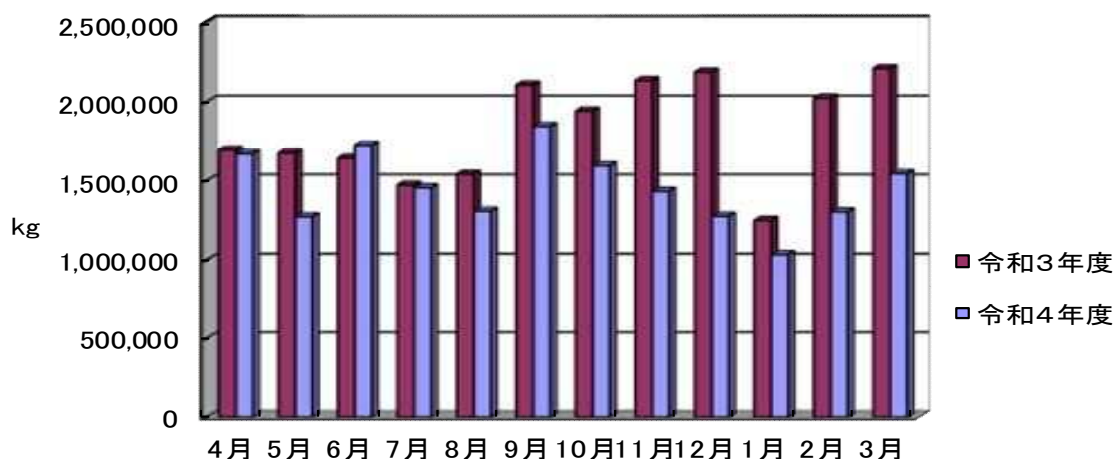


2 航空貨物

国内航空貨物は、年間取扱量は約2千3百トン（前期比104.5%）となった。

国際航空貨物は、アメリカの貨物運送会社UPSが令和5年2月20日に中国（深圳）－関西国際空港－北九州空港の定期路線を新規開設した。年間取扱量は、コロナ禍による世界的な航空貨物需要が落ち着いたこと等を受け、定期路線とチャーター便とを合わせ、約1万5千トン（前期比77.1%）となった。

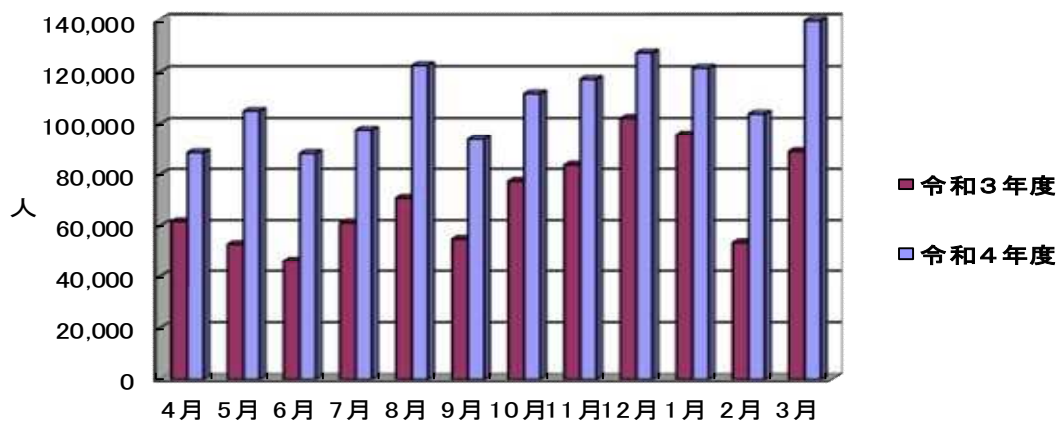
【国内・国際線貨物取扱量（合計）の推移】



3 旅客ターミナルビル来館者

年間のターミナルビル来館者は約1,317千人（前期比155.1%）となった。

【旅客ターミナルビル来館者数の推移】



【イベント実施状況】

開催時期	主 な イ ベ ン ト 名
5月	グリーンパーク 春のバラフェア展示 八幡東区 尾倉幼稚園の園児による絵の展示
6月	苅田町写真展 幼稚園児による七夕飾り
7月	ナイトトリップ(7/30(土)) 田川市美術館PR展示
8月	北九州空港お仕事講座「CA 講座」 ナイトトリップ(8/21(日)) 京築神楽PR展示 ふるさと納税PR ブース
10月	北九州空港まつり 税関PR展示 北九州空港菊花展
11月	北九州風景街道フォト&スケッチコンテスト入賞作品展示 池坊華空会 初冬の花展
12月	クリスマスイルミネーション点灯式 クリスマスイルミネーション 北九州空港お仕事講座「整備士講座」 花の展示 到津の森展示
1月	都市景観展示
2月	新池坊 花展
3月	17周年感謝祭 北九州国道事務所PR展示 イフクカズヒコ展示 花の展示

4 施設整備等

増大する国際貨物取扱量に対応するため、国際貨物上屋増設工事を実施した。その他、貨物 GSE 機材の更新等を行った。

5 経営状況

経営については、当期売上高は約886百万円で、航空便数及び空港利用者の回復に伴い、前期と比較し、約166百万円の増収となった。

当期の販売費及び一般管理費は、エネルギー価格の高騰や貨物地上支援器材（GSE）の保守点検体制の強化、空港ビルの運営時間の正常化に伴う管理委託費の増加等により、約889百万円で前期と比較し、約80百万円の増加となった。

また、営業外収益は約28百万円、営業外費用は約1百万円であり、以上の結果、税引前当期純利益は約14百万円で、当期純利益は約23百万円となり、3期ぶりに黒字となった。

Ⅲ 令和4年度決算

1 貸借対照表

令和5年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	824,770,478	【流動負債】	202,549,845
現金・預金	722,671,483	買掛金	1,221,824
未収入金	96,751,832	未払金	86,311,235
商品	571,013	一年以内返済長期借入金	35,106,000
貯蔵品	1,441,471	リース債務	13,208,408
前払費用	3,334,679	未払費用	2,100,300
		未払法人税等	15,023,700
【固定資産】	4,025,968,500	前受金	41,712,948
(有形固定資産)	3,797,232,819	預り金	830,850
建物	3,502,696,555	預り保証金	3,989,580
構築物	107,866,409	賞与引当金	3,045,000
工具器具備品	82,886,328	【固定負債】	290,379,333
機械装置	3	預り敷金	20,720,400
車両運搬具	11,891,892	預り保証金	8,431,360
リース資産	79,901,632	長期リース債務	74,725,281
建設仮勘定	11,990,000	退職給付引当金	18,338,300
		資産除去債務	168,163,992
(無形固定資産)	332,701		
電話加入権	124,984		
水道施設利用権	207,717		
		負債合計	492,929,178
(投資その他の資産)	228,402,980	純 資 産 の 部	
投資有価証券	215,542,100	【株主資本】	4,452,637,400
出資金	300,000	資本金	3,965,884,000
繰延税金資産	12,560,880	利益剰余金	486,753,400
		その他利益剰余金	486,753,400
		繰越利益剰余金	486,753,400
		【評価・換算差額等】	▲94,827,600
		その他有価証券評価差額金	▲94,827,600
		純資産合計	4,357,809,800
資産合計	4,850,738,978	負債・純資産合計	4,850,738,978

2 損益計算書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
I 売上高		886,170,751
売上高	30,206,583	
家賃収入	255,383,450	
管理費収入	181,469,204	
設備使用料収入	212,770,424	
広告料収入	37,310,115	
駐車場収入	169,030,975	
II 売上原価		6,143,339
売上総利益金額		880,027,412
III 販売費及び一般管理費		889,424,267
営業損失金額		9,396,855
IV 営業外収益		28,300,718
受取利息	8,805	
受取配当金	9,000	
雑収入	25,609,400	
保険金収入	2,673,513	
V 営業外費用		592,182
支払利息	592,182	
経常利益金額		18,311,681
VI 特別利益		23,150,000
補助金	23,150,000	
VII 特別損失		27,176,645
固定資産除却損	4,298,312	
建物圧縮損	15,000,000	
器具備品圧縮損	7,878,333	
税引前当期純利益金額		14,285,036
法人税、住民税及び事業税	4,229,181	
法人税等調整額	▲12,560,880	▲8,331,699
当期純利益金額		22,616,735

IV 令和5年度事業計画

<基本的な考え>

1 航空旅客

国内線はコロナ禍からの回復途上であることから、航空会社、地元自治体及び関係団体と連携をとり、PR やキャンペーンを実施する等の集客対策を行う。

国際線は、令和5年5月8日から約3年2カ月ぶりに韓国（仁川）線が定期便として再開したことから、地元自治体及び関係団体と一体となり、PR やキャンペーン等の集客対策を行うとともに、案内人の配置を行う等、旅客サービス面でも支援を行う。

また、コロナ禍で運休となった沖縄（那覇）線、台湾（台北）線、中国（大連）線などの復便に向け、地元自治体及び関係団体とともに航空会社に要望活動を行う。

福岡空港の運用時間終了後に当空港にダイバート（代替着陸）してくる航空会社の受け入れ体制については、地元自治体、航空会社、交通事業者等と連携し、全面的に協力する。

また、保安検査員・ハンドリング業務従事者等の人員不足解消に向け、警備会社やハンドリング会社等と連携し、採用支援等の協力をを行う。

2 航空貨物

令和6年4月のヤマト運輸（株）の就航に合わせ貨物上屋の建設を実施する。また、国の事業採択が決定した滑走路3千メートルへの延伸について、地元自治体とともに、早期完成に向けて国への要望活動を行う。

3 ターミナルビル来館者

来館者に安全に、安心して空港ターミナルビルを利用していただくため、引き続き館内での感染対策を実施する。

各種イベントについては、北九州空港に親しんでいただくとともに、旅客増につながるイベントを実施する。

4 入居事業者への対応

退店した総合レストランの後継店舗について、地元自治体と連携し、飲食テナント全体が成り立つ運営形態や運営手法等を検討するとともに、併せて新規誘致を行う。

また、既存テナント支援のため各種イベント・キャンペーン等を検討、実施する。

5 企業リスク対策

特定天井等の改修の具体的検討を進める。

開港から17年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいるため、大きな事故や運航に支障をきたす故障に繋がらないよう、施設の修繕、改修等、適切な管理運営に努める。

施設の修繕・改修や国内貨物上屋新設等の大型投資を踏まえ、安定的な資金計画の中で、適切な設備投資を行う。

6 コスト削減と収益増対策

引き続き、経費削減に努める。

また、広告等収益増に繋がる取り組みについて更に強化していく。

7 駐車場事業

駐車場事業については、空港ビルと駐車場の一体運営により、利用者の利便性向上及び経営の効率化を図り、空港全体の利用者増と会社の収支向上に繋げる。

繁忙期には、警備員を配置するとともに、満車対策として臨時駐車場を開放し、利用者の安全・安心と利便性向上を図る。

V 令和5年度予算

収支予算書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日 (単位：千円)

収 入	営業収入	売上高	33,000
		家賃収入	300,000
		管理費収入	195,000
		設備使用料収入	250,000
		広告料収入	38,000
		駐車場収入	184,000
	小 計	1,000,000	
	営業外収入	雑収入等	28,000
		小 計	28,000
	合 計		1,028,000
支 出	営業費用	売上原価	8,000
		人件費	132,000
		減価償却費	245,000
		修繕費	55,000
		水道光熱費	110,000
		租税公課	58,000
		地代	87,000
		管理委託費	220,000
		一般管理費	62,000
	小 計	977,000	
	営業外費用	支払利息	1,000
		小 計	1,000
	合 計		978,000
収 入 - 支 出		50,000	

VI 役員名簿

令和5年7月1日現在

役職名	氏名	現職
代表取締役社長	鮎川 典明	
代表取締役専務	岩永 龍治	
常務取締役	垣田 健一	
取締役	東 俊明	日産自動車九州株式会社 取締役常務執行役員
取締役	安田 堅太郎	西日本鉄道株式会社 執行役員 西鉄バス北九州株式会社 代表取締役社長
取締役	砂川 浩	TOTO株式会社 総務本部長 兼 安全衛生統括室長
取締役	鶴岡 直樹	株式会社ゼンリン 社長室 参与 九州担当
取締役	平尾 智賀志	ANAホールディングス株式会社 グループ経営戦略室 事業管理部 マネジャー
取締役	城野 和幸	苅田町 副町長
取締役	宮崎 幸雄	九州電力株式会社 執行役員 北九州支店長
常勤監査役	長谷川 英祐	
監査役	川中 昌哉	行橋市 総務部長
監査役	井倉 眞	福岡ひびき信用金庫 理事長